

第16回

秋田工芸展

秋田の工芸・その心と技

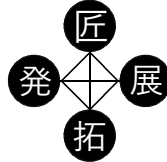
あきた県民文化芸術祭2024 参加事業

◆開催趣旨

プロ・アマを問わず、方向性を限定せずに公募した創作性あふれる作品を、広く展覧することによって秋田県工芸の健全な発展に寄与する。

◆審査基準

匠軸…技術・技法の高さ
発軸…発想の面白さ
展軸…表現の豊かさ
拓軸…開拓精神の旺盛さ



◆審査員

安藤 郁子 (秋田公立美術大学美術学部美術学科教授)
保泉 充 (秋田県立近代美術館主査(兼)学芸主事)
三戸 忠洋 (秋田魁新報社文化部長・論説委員)
阿部 順一 (NHK秋田放送局局長)
沓沢 則雄 (漆芸家・日展会員)

●会期

2024年10月24日(木)～27日(日)
10:00～17:00 (最終日は16:00まで)

●会場

秋田県立美術館 1 階 県民ギャラリー

●主催

秋田県工芸家協会

●共催

一般社団法人秋田県芸術文化協会

●後援

秋田県／秋田県議会／秋田県教育委員会／
秋田市／秋田市議会／
秋田県商工会議所連合会／
秋田県商工会議所連合会／
秋田県商工会連合会／秋田魁新報社／
NHK秋田放送局／ABS秋田放送／
AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／
エフエム秋田／秋田公立美術大学

●協力

エフエム椿台

同時開催：第63回秋田県工芸家協会展

審査員総評

■秋田地域に根付いた工芸の深み・幅の広さを感じたと共に、現代社会の中にどの様に工芸の魅力を伝え、ものづくり文化を継承・発展させていけるのが課題も感じた。素材とのかかわりにのめり込み夢中になって制作したであろう出品者のエネルギーを感じることができて嬉しく思った。■飛び抜けた目立つ作品はないが、どの作品も素材を生かしながら形や色彩について細部まで神経を行き届くようにしている。これから自分独自の特色を作り、深めていくことを期待する。■自分がいま持っている技術を最大限生かし、デザインの的にも造形的にも新たな表現に挑戦しようという意欲が感じられる作品が多かった。工芸品は、日常の生活空間に潤いを与えるものだと思う。そういう点からも高く評価できる作品が多く、見応えがあった。■バラエティーに富んだ作品群の中に、一点ずつよく見ると作者各々の想いが作品に表現されており、面白く感じた。工芸素材の美しさを形として造形することがモノ造りとしての大切な事だ。益々の精進を祈る。■いずれの作品も作家の想いが形に現れており、内面性を踏まえたダイナミクスさが感じられる。これからも秋田の工芸をささえていただきたく思う。

作品目録

部門	作品名	氏名	住所	備考
陶芸	鉄釉釉彩大鉢	古木 保雄	由利本荘市	A
陶芸	灰釉彫紋組皿	古木 保雄	由利本荘市	A
陶芸	布目扇面壺	齊藤 壽一	秋田市	G
陶芸	古都に舞う	佐々木 幸二	秋田市	M
陶芸	青白釉皿	渡邊 建	秋田市	N
陶芸	秋灯	菊地 志保子	由利本荘市	P
陶芸	集	岩淵 紘一	秋田市	V
陶芸	天変地異	石山 新作	大仙市	V
陶芸	布目菖蒲文鉢	田口 多喜子	由利本荘市	V
陶芸	掻き落とし波紋皿	土門 拓実	にかほ市	V
陶芸	大鉢青	土門 拓実	にかほ市	V
陶芸	静の壺	佐々木 ひろ子	由利本荘市	V
陶芸	紅葉(油滴茶碗)	伊藤 成行	由利本荘市	V
陶芸	秋彩(焼締水指)	伊藤 成行	由利本荘市	V
陶芸	練込銘々皿	高橋 由美子	由利本荘市	V
陶芸	スロウダウン	草薨 桃江	大仙市	V
陶芸	碧	栗城 亮子	由利本荘市	V
陶芸	秋麗	佐々木 弘子	由利本荘市	V
陶芸	静ひつ	佐藤 美也子	由利本荘市	V
陶芸	蒼空	佐藤 久美子	由利本荘市	V
陶芸	刷毛目模様のつぼ	今野 矩子	由利本荘市	V
陶芸	月に帰りたい	藤田 レイ子	秋田市	V
陶芸	ドームに雪	佐々木 郁	横手市	V
陶芸	彩り壺	茂木 ミチ子	横手市	V
人形	7才のお祝い	三浦 京子	秋田市	V
人形	宝珠巡り唐草十二支	杉山 ハヤト	仙北市	V

部門	作品名	氏名	住所	備考
木竹	セレナーデ	倉橋 正伸	大仙市	B
木竹	秋景盆	吉田 豊史	秋田市	O
木竹	舞い・飛ぶ	田村 正	秋田市	S
木竹	樺一輪挿台「清」	小笠原 豊	大館市	Q
木竹	鎌棒ペンダントTOP「黎」	小笠原 豊	大館市	V
染織	月光殿	伊藤 祐彩	秋田市	H
染織	流転	鈴木 美保子	秋田市	L
染織	友禅染帯 ルーシー	小林 貴子	由利本荘市	V
染織	deep sea 海の記憶	齋藤 るみ子	秋田市	V
漆	乾漆螺鈿箱(二十八宿)	劉 幸運	石川県金沢市	D
漆	乾漆朱輪花盤	YU DANLU	秋田市	I
漆	螺鈿蒔絵棗「ハクサンフウロ」	YU DANLU	秋田市	V
紙	おねえちゃんだよ	大木 重幸	秋田市	U
金属	森のうた	佐々木 イサム	にかほ市	C
金属	調	小野 春美	秋田市	E
金属	接合香炉「落葉のシンフォニー」	石山 敦子	秋田市	T
金属	杣目銅 茶入	本郷 千賀子	秋田市	V
金属	銅板彫金飾り箱	山崎 広太郎	潟上市	V
金属	花器	高橋 雅子	秋田市	V
金属	銅彫鍛金蓋物「あかがね」	澤田石 みき	秋田市	V
ガラス	落葉樹	菊地 友芳	秋田市	V
諸工芸	晩秋	土井 良子	男鹿市	F
諸工芸	想いの向こうに	目黒 朋子	秋田市	J
諸工芸	故郷の恵で	松永 智子	由利本荘市	K
諸工芸	縄文からの声「ワ・オ」	佐藤 芳子	秋田市	R

出品：46名51作品 (うち無鑑査作品2点)

※備考欄の内訳

A=無鑑査作品 B=秋田県工芸大賞 C=秋田県知事賞 D=秋田県議会議長賞 E=秋田県教育委員会教育長賞 F=秋田市長賞 G=秋田市議会議長賞
H=秋田魁新報賞 I=匠賞 J=発賞 K=展賞 L=拓賞 M=秋田県芸術文化協会賞 N=秋田県商工会議所連合会賞 O=秋田県商工会連合会賞
P=NHK秋田放送局賞 Q=ABS秋田放送賞 R=AKT秋田テレビ賞 S=AAB秋田朝日放送賞 T=エフエム秋田賞 U=審査員特別賞 V=入選